

令和7年度第4回霞ヶ浦自然観察会実施結果

テーマ：ロゼットを観察しよう

日時：令和8年2月21日（土） 10時～12時

場所：茨城県霞ヶ浦環境科学センター野外施設「いきもののにわ」周辺

案内：小幡和男（茨城県霞ヶ浦環境科学センター）

内容：植物が地面にへばりつくように放射状に葉を広げる形をロゼットといいます。バラ（ローズ）からきた呼び名です。踏まれたり草刈りされたりするところにはいろいろなロゼットが見られます。また、ロゼットで冬越しをする植物も多くいます。

この観察会では、ロゼットの観察を中心に、早春に花を咲かせている草木についてもいっしょに観察しました。

参加者：17名（大人15名、子ども2名）

担当職員：6名

パートナー：5名

結果：この観察会では、センター敷地内の「いきもののにわ」周辺で、ロゼットの観察を中心に、早春に花を咲かせている草木についてもいっしょに観察しました。この日は天候に恵まれ、風もなく暖かい日の下でゆっくり散策しながら植物の観察を行いました。

この季節は、植物を観察するにはシーズンオフのような気がしますが、約2時間の観察時間の中で、草本植物33種、木本植物4種、合計37種もの植物を観察することができました。

観察会全体を通してパートナーの皆さんと参加者の方々全員の協力を得て、楽しく安全に観察会を行うことができました。皆さんありがとうございました。以下に観察できた主な植物を観察した順に示します。

《観察できた植物》

オオイヌノフグリ・・・瑠璃色の美しい花びらの形、雄しべ雌しべのようす、葉や茎の毛の生え方などを観察した。

ナズナ・・・春の七草のひとつに数えられている植物。ロゼットと早々に茎を伸ばして花を咲かせ、実をつけているようすを観察した。

オランダミミナグサ・・・ナデシコ科の特徴である5枚の花びら、対生につく葉などを観察した。茎や葉に密に生える毛についても観察できた。

オニノゲシとノゲシ、アイノゲシ・・・似た者同士のロゼットの違いを観察した。手で触ってやや硬いとげがチクチクする方がオニノゲシ、比較的柔らかい方がノゲシ、それらの雑種で中間的な形になるのがアイノゲシ。

ウラジロチチコグサとチチコグサモドキ・・・こちらも似たものどうしのロゼット。葉の裏が白いのがウラジロチチコグサ。

ミチタネツケバナ・・・芝生の中に生える小さなロゼット。茎を伸ばし白い花を咲かせていた。

ハンノキ・・・早春に花を咲かせる樹木。黄色い花粉を飛ばし花粉症の原因となる。目立つ雄花、目立たない雌花、昨年実った果実とまだ果実の中に散布されずに残っている種子を観察した。

ハルジオンとヒメジョオン・・・どちらも代表的なロゼット。葉1枚をとって、つけ根までひれ状になっているのがハルジオン、つけ根は細く柄になっているのがヒメジョオン。

ホトケノザとヒメオドリコソウ・・・どちらもシソ科の植物。唇を思わせる花の形が特徴。葉が丸く仏の座を連想するのがホトケノザ。ヒメオドリコソウの葉は先がとがる。

イモカタバミとノビル・・・寒い季節でも青々と元気な植物。掘って地下部のようすを観察した。

ヤエムグラ・・・暖かい時期になると葉は長く伸びとげ状の毛が生えてざらつくが、この時期の葉は短くトゲもほとんど目立たず柔らかい。

コハコベ・・・春の七草のひとつ。白い小さな花が咲いている。花びらの枚数は一見10枚

に見えるが、ウサギの耳状に深く切れ込んでいるので実際は5枚。

ナガミヒナゲシ・・・独特に切れ込んだ葉をもつロゼット。春にオレンジ色の花が咲く。

ブタナ・・・さわると分厚く、あらい毛が生えた葉をもつロゼット。センター敷地に多い。

セイトカアワダチソウ・・・掘ってみると長い地下茎をはっている。

ハハコグサ・・・春の七草のひとつ。ロゼットと黄色い花を観察した。

ヨモギ・・・ロゼットではないが、早春に若芽を伸ばし、草餅の材料になる植物。いい香りを確認した。

ヒガンバナ・・・この季節、葉だけを地上に出している。細い葉の真ん中が白っぽい。

ギシギシ類とスイバ・・・よく似ているので区別が難しい。ギシギシ類には、ギシギシ、エゾノギシギシ、ナガバギシギシ、アレチギシギシがある。

ヘラオオバコ・・・縦方向に走る葉脈がはっきりした細い葉が特徴的なロゼット。

センニンソウ・・・つる植物のセンニンソウが芽を出していた。葉は有毒なのであまりさわらない方がよい。

ムラサキツメクサとシロツメクサ・・・株状に生えて毛深く葉が長細いのがムラサキツメクサ、横に長くはい毛が目立たず葉が丸いのがシロツメクサ。

ヤハズエンドウ・・・カラスのエンドともいう。この季節はまだ小さい。

セイヨウタンポポ・・・代表的なロゼット植物。葉が切れ込んでいる。花も咲いていた。

カワヅザクラ・・・静岡県河津町で発見され、育成されたサクラ。オオシマザクラとカンヒザクラの自然雑種と言われる。花が早く咲き美しいサクラ。

キュウリグサ・・・小さくて葉が丸いかわいいロゼットが特徴。

オニタビラコ・・・タンポポに似るが、毛が生えている。

サザンカとヤブツバキ・・・サザンカの栽培種カンツバキとヤブツバキを比べながら観察した。ヤブツバキの特徴は、雄しべが筒状になっている、雄しべと花びらが癒合してまとまって落ちる、雌しべの子房に毛がない、葉柄に毛がない、果実の表面に毛がない。カンツバキの特徴は、雄しべが筒状にならない、花びらが癒合せずばらばらに落ちる、雌しべの子房に毛が密生、葉柄に毛がある、果実の表面に毛がある。

令和7年度第8回霞ヶ浦自然観察会



オランダミミナグサの観察と拡大した花



きれいに咲いているオオイヌノフグリ



オニノゲシ (左) とノゲシ (右) の比較



花盛りのハンノキ (左) と昨年実った種子 (右)



ハルジオンとヒメジョオンのロゼットの葉の比較



ブタナの葉のさわり心地を体験



きれいに咲きだしたカワヅザクラ



ヤブツバキとサザンカを比べて観察